

- 問1 江戸時代末期、それまでの鎖国体制を揺るがす出来事が相次ぎました。1853年にアメリカ大統領の親書を携えて浦賀に来航し、翌年に幕府と日米和親条約を締結して日本を開国させた人物は誰か、適切な人名を選びなさい。(2020年 静岡公立入試 類似)
1. ペリー
 2. ハリス
 3. ラクスマン
 4. レザノフ
- 問2 南北戦争において、リンカン大統領が率いる北部の勢力が掲げていた、社会制度および経済政策の方針として適切なものはどれですか。(2020年 三重公立入試 類似)
1. 奴隷制の拡大に反対し、国内の工業を発展させるために保護貿易を主張した。
 2. 奴隷制を維持することで農業生産力を高め、自由貿易によって海外へ輸出することを主張した。
 3. 奴隷制を全面的に容認し、イギリスとの同盟を深めるために自由貿易を推進した。
 4. 奴隷制の廃止を掲げる一方で、経済面では海外製品を広く受け入れる自由貿易を求めた。
- 問3 幕末に日本へ来航したペリーの艦隊は、産業革命によって生み出された蒸気機関を搭載していました。この技術革新が航海に与えた歴史的な影響として、最も適切な説明はどれですか。(2019年 奈良公立入試 類似)
1. 風向きや海流の変化に左右されず、目的地へ向けた安定した航行が可能になった。
 2. 石油を燃料とすることで、石炭を積むスペースを削減し、船体の小型化に成功した。
 3. 電気モーターを利用することで、騒音を抑えて日本近海へ隠密に接近することが可能になった。
 4. 帆をすべて廃止したことで、船体の重心が安定し、嵐の中でも沈没しない船が完成した。
- 問4 1837年、日本人漂流民の帰還と通商を求めて来航したアメリカの商船を、幕府が「異国船打払令」に基づいて砲撃したモリソン号事件が起こりました。この幕府の対応を批判し、後に「蚕社の獄」と呼ばれる弾圧を受けた蘭学者の組み合わせとして、正しいものを選びなさい。(2021年 愛媛公立入試 類似)
1. 高野長英・渡辺崋山
 2. 杉田玄白・前野良沢
 3. 緒方洪庵・福澤諭吉
 4. 本多利明・佐藤信淵
- 問5 イギリス、清、インドの3国間で行われた貿易において、イギリスが清に対する貿易赤字を解消するために、植民地のインドから清に向けて輸出させた品物はどれですか。(2021年 歴史公立入試 類似)
1. アヘン
 2. 生糸
 3. 香辛料
 4. 陶磁器
- 問6 18世紀後半に世界で最初に産業革命が始まり、資本主義経済の発展をリードした国家はどこか。ヨーロッパ北西部の島国であり、江戸時代の1808年には軍艦を長崎に侵入させたフェートン号事件を引き起こした国を選択肢から選びなさい。(2016年 長崎県公立入試 類似)
1. イギリス
 2. イタリア
 3. スペイン
 4. フランス
- 問7 19世紀半ばの開国に関する出来事について、日米和親条約の内容として正しい説明を選択してください。なお、開港された場所は、現在の静岡県伊豆半島の先端部分と、北海道の南端部分に位置しています。(2019年 三重公立入試 類似)
1. 燃料や食料を補給するため、下田と箱館の2港が開港された。
 2. 本格的な貿易を開始するため、下田に代わって横浜と長崎が開港された。
 3. 開国後も外国人の行動を制限するため、出島のある長崎のみが維持された。
 4. 外国の軍艦を警戒するため、江戸に近い浦賀と館山の2港が開港された。
- 問8 18世紀後半から19世紀にかけて、ロシアをはじめとする欧米の船が日本近海に頻りに現れるようになりました。これに対し幕府は、1825年に日本沿岸に近づく外国船を無差別に攻撃して追い払う法令を出しましたが、その後、1842年にはこの方針を緩め、薪や水、食料を与える「薪水給与令」を出しました。このように幕府が強硬な姿勢を改める直接のきっかけとなった、清(中国)がイギリスに敗北した出来事は何ですか。(2026年 青森公立入試 類似)
1. アヘン戦争
 2. 矢銭の徴収
 3. 生麦事件
 4. 日米和親条約の締結
- 問9 1858年から1867年にかけての日本の経済状況において、米や塩などの物価推移を示す統計資料では、1860年代半ばから価格が急激に上昇していることが確認できます。この要因となった「万延小判」に関する記述として最も適切なものはどれですか。(2022年 三重公立入試 類似)
1. 金銀の交換比率の差による金の流出を食い止めるため、それまでの小判よりも金の含有量を大幅に少なくした貨幣である。
 2. 海外との貿易を有利に進めるため、欧米の貨幣と同じ金の含有量に設定して発行された貨幣である。
 3. 国内の産業を育成する資金とするため、幕府が日本で初めて発行した紙幣のことである。
 4. 物価の上昇を抑えるために、幕府が貨幣の質を高めて流通量を制限した貨幣である。
- 問10 1867年に江戸幕府が行った「大政奉還」に関連して、当時の政治情勢や幕府の狙いを説明したものとして、正しいものはどれか。(2022年 香川公立入試 類似)
1. 薩長同盟の成立により倒幕派の勢力が増したため、徳川家が形式的に政権を返上することで、新政府においても徳川家が政治の実権を維持しようとした。
 2. 朝廷から直接的な武力攻撃を受けた幕府が、降伏の条件として幕府を解散し、すべての領地を返上することを決定した。
 3. 長州藩が提案した「公武合体」の考えに基づき、将軍と天皇が共同で政治を行うための新しい官職を設ける準備として行われた。
 4. 下関戦争に勝利した外国勢力からの強い要求により、日本を統一した組織にする必要が生じたため、幕府が自主的に権力を返上した。
- 問11 1838年に誕生した人物が成長し、1867年に大政奉還の建白が行われるまでの幕末の動乱期において、政治的な出来事が起きた順序として正しいものはどれですか。(2016年 佐賀公立入試 類似)
1. 日米和親条約の締結による開港が行われ、その後、幕府に反対する勢力を弾圧した安政の大獄が起き、最終的に薩摩藩と長州藩による薩長同盟が結ばれた。
 2. 薩摩藩と長州藩による薩長同盟が結ばれた後、日米和親条約による開港が実現し、その後に幕府が反対派を抑え込むための安政の大獄を断行した。
 3. 幕府が安政の大獄によって反対勢力を一掃した後に日米和親条約を締結して開港し、その数年後に薩摩藩と長州藩が協力して薩長同盟を結んだ。
 4. 日米和親条約による開港が決定する前に薩摩藩と長州藩が薩長同盟を結成し、その軍事力を背景に安政の大獄と呼ばれる弾圧を幕府に行かせた。
- 問12 19世紀半ば、水戸藩の徳川斉昭が「弘道館」を設立した当時の社会背景と、同時期に活動した人物の動向について述べた文として正しいものを選択肢から選びなさい。(2023年 茨城県公立入試 類似)
1. 外国船の来航など対外的な緊張が高まる中、人材育成が急務となり、吉田松陰らが尊王攘夷の思想を広めた。
 2. 元禄文化が栄え、近松門左衛門や井原西鶴といった人物が町人の生活を題材にした作品を残した。
 3. 鉄砲の伝来により戦国大名の戦い方が変化し、織田信長が天下統一に向けて教育機関を整備した。
 4. 墾田永年私財法によって土地の私有が認められたため、有力な貴族が各地に私塾を開いた。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 ペリー	江戸時代末期の外交の推移を整理すると、18世紀後半からラクスマンやレザノフといったロシア使節の来航が始まり、幕府は警戒を強めていました。しかし、1853年にアメリカの東インド艦隊司令長官が4隻の軍艦（黒船）を率いて浦賀に現れたことで、幕府はついに開国を迫られることとなります。この時、親書を提出し、翌年の再来航で日本に2港の開港を認めさせたのがペリーです。ハリスは後に日米修好通商条約を締結したアメリカ総領事であり、混同に注意が必要です。
問2	答え 1 奴隷制の拡大に反対し、国内の工業を発展させるために保護貿易を主張した。	北部は資本主義的な工業化が進んでおり、自国の未熟な産業を保護するために高い関税をかける保護貿易を必要としていました。また、自由な労働力を確保する観点からも奴隷制には反対の立場をとっていました。一方の南部は農業中心で、奴隷制の維持と自由貿易を求めていたため、これらの方針の違いが激しい対立を生みました。
問3	答え 1 風向きや海流の変化に左右されず、目的地へ向けた安定した航行が可能になった。	蒸気機関による動力の確保は、従来の帆船が抱えていた「風がなければ進めない」「逆風では目的地へ向かうのが困難」という制約を打ち破りました。これにより、軍事的な機動力や貿易の効率が劇的に向上しました。なお、燃料が石炭から石油へと移行するのは19世紀末から20世紀にかけてのことであり、幕末当時は石炭が主要な燃料でした。
問4	答え 1 高野長英・渡辺崋山	1825年に出された異国船打払令により、幕府は近づく外国船を無差別に攻撃する方針をとっていました。しかし、モリソン号が非武装の商船であり、日本人を送り届けようとしていたことが判明すると、高野長英は『戊戌夢物語』、渡辺崋山は『慎機論』を著して幕府の硬直した政策を批判しました。幕府はこれに対し、彼らを捉えて厳しく処罰しました。
問5	答え 1 アヘン	イギリスは清から茶を輸入して支払った銀を回収するため、インドで麻薬の一種であるアヘンを栽培させ、これを清へ密輸出させました。この「イギリス・インド・清」の3国間で行われた貿易形式を三角貿易と呼びます。清はこのアヘンの流入を厳しく取り締まったことから、イギリスとの間でアヘン戦争が勃発しました。
問6	答え 1 イギリス	18世紀後半、石炭資源や植民地、資本が蓄積されていたイギリスで、蒸気機関などの技術革新を背景に世界初の産業革命が起こりました。同国は強力な海軍力を背景に海外進出を強め、1808年には長崎でフェートン号事件を引き起こし、当時の江戸幕府に大きな衝撃を与えました。
問7	答え 1 燃料や食料を補給するため、下田と箱館の2港が開港された。	日米和親条約は、日本の鎖国体制を終わらせた最初の条約です。このとき、アメリカ側が求めたのは貿易の拠点ではなく、捕鯨船などが寄港できる補給基地の確保でした。そのため、江戸から一定の距離があり、管理がしやすい伊豆半島の下田と、北の拠点である箱館が選ばれました。自由な貿易が始まるのは、1858年の日米修好通商条約以降のことです。
問8	答え 1 アヘン戦争	1840年に勃発したアヘン戦争で、大国である清がイギリスの軍事力に圧倒されて敗北したという情報は、オランダ風説書などを通じて幕府に大きな衝撃を与えました。これにより、従来の「異国船打払令」を続けて外国と武力衝突に発展することを恐れた幕府は、遭難した船などに限り薪や水を与える「薪水給与令」へと政策を転換しました。
問9	答え 1 金銀の交換比率の差による金の流出を食い止めるため、それまでの小判よりも金の含有量を大幅に少なくした貨幣である。	幕末の開国にともない、日本と外国の金銀交換比率の差を突いて日本の金が大量に海外へ流出しました。幕府はこの流出を防ぐための苦肉の策として、1860年に金の含有量をそれまでの約3分の1に減らした「万延小判」を発行し、金の価値を国際水準まで引き下げました。これを貨幣改鑄といいます。この政策によって金の流出は収まりましたが、一方で貨幣価値の急落を招き、米や塩といった生活必需品の価格が急騰する物価高騰を招く結果となりました。この経済的な混乱は、当時の人々の生活を苦しめ、幕府への不信任感を高めることとなりました。
問10	答え 1 薩長同盟の成立により倒幕派の勢力が増したため、徳川家が形式的に政権を返上することで、新政府においても徳川家が政治の実権を維持しようとした。	薩長同盟の成立により、長州藩と薩摩藩による武力倒幕の準備が進められました。これを知った土佐藩の後藤象二郎らが徳川慶喜に大政奉還を勧め、慶喜もこれを受け入れました。慶喜の狙いは、天皇に政権を返上することで武力討伐の大義名分を奪い、政治能力に欠ける朝廷に代わって、有力な大名の一人として徳川家が引き続き実権を握ることにありました。
問11	答え 1 日米和親条約の締結による開港が行われ、その後、幕府に反対する勢力を弾圧した安政の大獄が起き、最終的に薩摩藩と長州藩による薩長同盟が結ばれた。	1854年の日米和親条約締結によって長年の鎖国体制が終わって開港が実現しましたが、これに反対する尊王攘夷派の動きが激化しました。1858年から1859年にかけて大老の井伊直弼がこれらの反対勢力を厳しく処罰したのが安政の大獄です。この弾圧が幕府への不信任感を高めることとなり、1866年に坂本龍馬らの仲介によって、かつて対立していた薩摩藩と長州藩が薩長同盟を結び、倒幕の流れが決定的となりました。
問12	答え 1 外国船の来航など対外的な緊張が高まる中、人材育成が急務となり、吉田松陰らが尊王攘夷の思想を広めた。	19世紀半ばは、欧米列強の接近により幕府の権威が揺らぎ、対外的な危機感から藩校での教育が重視された時期です。徳川齊昭は水戸学を背景に弘道館を設立し、同時期に吉田松陰もまた天皇を尊び外国を返ける「尊王攘夷」の思想を説いて、動乱の幕末期における精神的な支柱となりました。